

## 学校自己評価・関係者評価結果公表シート

学校法人伊勢学園  
双 康 幼 稚 園

## 1.本園の教育目標

本園では教育の不易と流行の部分を見極めて、きめ細かい教育の実践に努めます。  
特に「あそび」を通して人間関係づくりや、自己実現のあり方を学び、共生の基礎的な能力を育成し、成長させたいと願っています。  
知的欲求に応え「わかった」「できた」という「まなび」の喜びを体験させ、知的発達を促す教育を進めます。また、美しい自然に触れたり、飼育・栽培の活動を展開したりして、情動体験を重ね、豊かな感性を育てる教育活動を実践します。  
知育・徳育・体育に加え特色ある園独自の完全給食活動から「食育」にも力を注ぎます。

## 2. 平成24年度重点的に取り組む目標・計画

本園の園目標である「よいしつけ」「美しい心」「強いからだ」「楽しい食事」を踏まえ、新幼稚園教育要領の内容を充分理解し、あらゆる教育活動において園目標の実践に努めます。「教師の力量向上」を意識した研修、実践を経て、特に適切な環境を計画的に構成することを心がけ、積極的な言葉がけや見守りを大切に、子どもに寄り添い、意識付けをしながら微細な関心や感情の揺れを感じ取り、タイムリーで適切な指導を心がけます。  
園児・保護者が「この幼稚園で学べて良かった」と満足する幼稚園教育活動を推進します。特に「元気で正しい挨拶ができる」「静かに人の話が聞ける」ことを目標に取り組みます。

## 3. 評価項目の達成及び評価

※(A-充分、B-やや十分、C-やや不十分、D-不十分)

評 価 項 目	取 組 評 価
【適切な環境構成を心がける】 幼児の主体的な活動が確保されるように行動の理解と予測に基づき計画的に環境を構成する。	子どもの発達段階を考え、季節や行事に応じた興味関心の持てる環境を設定することを心掛けた。また、子どもの導線を考えて安全対策も考慮するようにした。今後、地震などの災害時対応への環境も考える必要がある。【評価-B】
【元気で正しい挨拶の推進】 園児が「元気で正しい挨拶ができる」ように日々援助する。	教師の行動が子ども達の手本となることを意識して、常に笑顔で元気に挨拶をすることを実行した。「挨拶をすること、されることの気持ち良さ」を伝え、感じることで言葉を交わすことの喜びを感じることを意識した。まだ充分ではない気がする。【評価-B】
【人の話を聞く態度の養成】 園児が「静かに人の話が聞ける」態度を養う。	必ず、話し出す前に子ども達に準備を整える余裕を持ち、聞く環境、態勢が整うまで待つことを意識した。話を聞くことの大切さや喜びを感じるような取り組みが必要だと思った。子ども達が集中できる環境作りも大切。【評価-B】
【食育を意識した給食活動】 給食活動を通して、規則正しい生活習慣や食生活の大切さ、季節や食材について理解を図る。	給食室の楽しい雰囲気作りに心掛け給食の苦手な子どもも楽しく美味しく食べられる工夫をした。メニューや食材の説明もしながら楽しく食べられることを意識した。「ばんぱんだ時刻」を設定し食事時間を意識した給食活動に努力した。【評価-A】
【通園バスの安全運行】 運転手と添乗教員が協力をして事故のない安全運行に努める。	子ども達の乗降の際には周囲を確認し安全を確認することに心掛けた。子ども達にはバスの中でのマナーを伝え、落ち着いて乗車する態度や環境を作れた。運行日誌等を利用し安全運行ができた。【評価-A】

<p><b>【家庭との連携】</b> 学習指導要領の「幼稚園と家庭の連続性」の確保のため保護者との連携に努める。</p>	<p>連絡帳を通して子どもの成長や日々の様子を伝えることができた。教師と保護者が子どもの成長を認めることで子どもが自信を高めるケースも多くあり、情報共有の大切さが分かった。やり取り多い少ないの差が出てしまった。【評価－B】</p>
<p><b>【教員の力量向上と自己研鑽】</b> 「教師力」向上のため現職教育や研修会には自己の課題をもって積極的に参加する。</p>	<p>夏季休業中を中心に研修会に参加をし、様々な分野に興味関心を持ち実践に役立てることができた。日々の保育においても他の教師の保育や言動から学び、専門性を高めると同時に人間力を高める努力が必要。【評価－B】</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

<p>4つの園目標を中心に取り組む中で、特に本年度は「挨拶」「話を聞く」事を意識した教育活動を実施した。子ども達は「挨拶」を自然にできるようになりつつあり、「話を聞く」事もずいぶん意識してできるようになりつつあるが、引き続き取り組む必要がある。環境設定については子ども達の成長に応じた適切な環境構成には教師の日々の観察が重要となるのでしっかりと子ども達の成長を見守り対応する必要がある。全体としては取り組みの成果が表れた一年だったと感じますが、引き続き対応すべき点もあるので次年度以降対応したい。</p>
--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
<p>「人の話をしっかり聞く」「自分の気持ちを伝える」</p>	<p>まず「人の話を聞く」事の大切さや喜びを感じ、そして自分の気持ちを適切な「言葉」で人に伝える力をつけるよう、人前でしっかりと自分の名前や好きな物を発表できるようにする。</p>
<p>教師の「教師力」向上のための研修参加</p>	<p>子どもの「自己肯定感」向上、育成のためには感度の高い「教師力」が求められる。その為の多彩な専門知識や保育技術の習得に積極的に取り組む。</p>
<p>食物アレルギーを持つ子どもへの対応について</p>	<p>給食におけるアレルギーを持つ子どもへの事故のない態勢作り。クラス活動での食物アレルギーへの対応について考える。</p>

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

<p>子ども達の発達段階を考え、適切な環境作りに努力されている姿がよくわかります。子ども達の安全についても考慮されていて安心します。先生方の話をしっかりと聞く態度や給食活動などは、これから小学校に進級していく子ども達にとってはとても大切な事だと思いますので大切にしてもらいたいと思います。バス通園ということで親との連絡が心配な所ですが、連絡帳がとても頻繁にやり取りされているので、家庭との連携も充分だと感じられます。幼稚園と家庭が子どもをしっかりと見守っている様子が素晴らしいと思います。挨拶については新たに入園してくる園児もいますので、引き続き取り組んでいただきたいと思います。</p>
--